

# 光・量子飛躍 フラッグシッププログラム (Q-LEAP) 第1回シンポジウム

～量子科学技術（光・量子技術）ネットワーク型研究拠点の形成に向けて～

文部科学省は、経済・社会的な重要課題に対して、量子科学技術（光・量子技術）を駆使して非連続な解決（Quantum Leap）を目指す研究開発プログラム「光・量子飛躍フラッグシッププログラム（Q-LEAP）」を開始いたしました。本事業では、量子情報処理（主に量子シミュレータ・量子コンピュータ）、量子計測・センシング、次世代レーザーの3つの技術領域毎に任命したプログラムディレクター（PD）の研究開発マネジメントのもと、異分野融合、産学連携のネットワーク型研究拠点を形成し、Flagship プロジェクトと基礎基盤研究を実施します。

本事業のスタートにあたり、シンポジウムを開催し、各技術領域のネットワーク型研究拠点の紹介及び、近年注目を集めている量子コンピュータをテーマにパネルディスカッションを実施いたします。

日時

平成 1/30 水 13:00～17:00  
31年

会場

東京コンベンションホール  
東京都中央区京橋三丁目 1-1 東京スクエアガーデン 5F

お申込

下記のサイトよりお申し込みください。  
<https://www.jst.go.jp/stpp/sympo/2018/q-leap.html>



## プログラム

13:00～13:15

- ▶ 主催者挨拶 文部科学省
- ▶ 来賓挨拶  
株式会社三菱ケミカルホールディングス 取締役会長 小林 喜光

13:15～14:15

- ▶ 基調講演 東京大学 総長 五神 真

14:15～15:15

- ▶ 各技術領域ネットワーク型研究拠点の説明①  
量子計測・センシングPD/東京大学 特任教授 荒川 泰彦  
次世代レーザーPD/早稲田大学 客員教授・上級研究員 遠藤 彰

15:15～15:30 休憩

15:30～16:00

- ▶ 各技術領域ネットワーク型研究拠点の説明②  
量子情報処理（主に量子シミュレータ・量子コンピュータ）PD/  
慶應義塾大学 教授 伊藤 公平

16:00～17:00

- ▶ パネルディスカッション「量子コンピュータ」  
【モデレーター】慶應義塾大学 教授 伊藤 公平  
【パネリスト】理化学研究所 チームリーダー 中村 泰信  
日本電気株式会社 首席技術主幹 萬 伸一  
MDR株式会社 代表取締役 湊 雄一郎  
株式会社東京大学TLO代表取締役 山本 貴史  
京都大学 特定准教授 藤井 啓祐

主催：文部科学省